

平成 31 年度 環境活動スタート事業

1 実施校

二本松市立二本松第三中学校

2 実施日

令和元年 11月26日(火)

3 講演会の様子

「国がなくなる?! キリバス共和国と地球温暖化」をテーマに、一般社団法人日本キリバス協会代表理事のケンタロ・オノ氏を講師として実施しました。キリバスの歴史や現状を資料映像(VTR)や写真を取り入れながらわかりやすく説明し、地球温暖化が及ぼす影響についての講義を行いました。



4 講演を聞いての感想

- ・日本人が「いただきます、ごちそうさま」と言っているのに、世界で1番フードロスをしていることが衝撃でした。今のキリバスの現状を知って、1つしかない大切なふるさとを守るために私も意識していきたいです。地球温暖化は命が関わっているので家族にも伝えたいと思います。

※次のページに進む

- ・私は今までしてきたことがどれだけの人を苦しめてきたのか、どれだけの人の命を奪ってきたかを考え、今までしたことをどう返せるかを考えました。まだ夢は決まっていますが、将来、キリバスのような国に行き、少しでもその国を手助けできたらいいなと思いました。今日の講演を聞くことができ本当によかったなと思っています。
- ・日本では地球温暖化の影響はあまり出ていないと思っていたけれど、キリバスの海面上昇やプラスチック（ごみ問題）など、日本などの先進国が引き起こしたことが原因であるということにすごく驚きました。
- ・地球温暖化が進んでしまうと、キリバスの人たちのふるさとがなくなってしまうことはあってはならないことと聞いて、自分達にできることをしていきたいです。
- ・地球温暖化は人間が自然を壊しているから発生してしまうということが、とてもくわしくわかりました。日々の生活で自分たちに何ができるか、少しでも意識することがとても大切だということがわかったので、明日から意識して取り組んでいきたいです。
- ・キリバスは 2050 年に約 8 割が浸水してしまい、食糧危機にも直面することがわかったので、自分ができる地球温暖化への対策を考えていきたいと思いました。
- ・今あたり前に思っていること（常識）は、みんながすべて同じだと思っているととは限らないということを知りました。また、命ととても関わりがあることを知らず、今回初めて学ぶことができました。
- ・講演を聞く前は、地球温暖化についてどこか他人事だった自分がいましたが、聞いた後はすでに苦しんでいる人々がいて、自分たちにも直接関わってくる問題だと気づきました。私たちの少しのわがままのせいで、美しい自然やそこに住んでいる人々の命を無駄にしたくないと思いました。
- ・自分たちの生活をよくしようと努力することよりも、世界で自分たち以上に困っている人たちを救おうと努力することが大切だと思いました。
- ・地球温暖化に対して、自分たちもできることはやっていくべきだと強く思いました。愛の反対は無関心という言葉がとても印象に残りました。
- ・地球温暖化は人間の思い出や心をこわしていて、人の命の問題でもあることがわかりました。プラスチックゴミの削減と節電、食べものを大切にすることがとても大切だと思いました。
- ・プラスチックや石油の使い過ぎなどが環境を悪くすることと、普段、自分の生活に関わっていることがわかり、キリバスなど島国の状況をわかりやすく説明してくださったケンタロ先生に感謝したいと思います。今日学んだことをこれからも生かしていきたいです。
- ・キリバスの小・中学校は私たちとは違い、机、椅子、教科書が人数分なく、私たちは環境の整った所に住んでいるので幸せに暮らしているんだと思いました。今の生活を当たり前とは思わないようにしたいです。